

TODA

地域と連帯
みんなと改革

戸田市議会議員

熊木てるあき

議会レポート

第8号

平成18年11月

熊木てるあき
後援会事務所

〒335-0026
戸田市新曾南1-8-6
Tel.430-6611 Fax.433-6008

安心・安全で暮らせるまちめざす



戸田市議会、平成十八年度
九月定例会において、議長代
理として議長席につく熊木副
議長（平成十八年九月十三日）



全国優勝!



第十五回 全国市町村
交流レガッタ大会

去る九月二・三日の両日、

富山県南砺市で全国市町村

交流レガッタ大会が開催さ

れました。熊木議員は昨年

に引き続き戸田市議会チー

ムで出場。全国から集まつ

た強豪チームを制し、みご

と「議会の部」で全国優勝

を果たしました。熊木議員

は、第十三回同大会での優

勝に続き二回目の金メダル

獲得となりました。

戸田市民の皆さんには、いつも変わらぬ温かなご支援・ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

今年二月、第一回定例市議会において名誉ある副議長の要職に就かせていただきました。以来、私の信条である「いつも誠実、精一杯の努力」で、市政発展のために円滑なる議会運営に取り組んでまいり、早くも十二月定例会を残すところとなりました。今後も市民の皆さまの声が議会に反映され、市政発展のためにさまざまな施策が進むよう努めてまいります。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

さて、副議長就任の直前、昨年の十二月議会において一般質問をさせていただく機会を得て、私は大規模災害に備えた防災体制について取り上げさせていただきました。

防災の問題は、市民の貴重な生命と財産を守るために、また安全で安心して暮らせるまちづくりのために、いつ来るかわからぬ大規模災害発生時に備えた防災体制の整備が急務と考えております。質問の要旨を次頁に掲載しましたので、ご一読ください。

わが愛するまち・戸田市が、市民の皆さんにとって安心して、安全に暮らせるまちであるよう、今後も市議会副議長としてその重責を果たしてまいります。皆様方のより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



安心・安全のまちづくり 防災対策の充実を要望

～12月定例議会 一般質問から(概略)～

小学生のうちから防災教育が大切

熊木議員 兵庫の県立舞子高校などを招いて灾害時の教訓や復興時の課題を聞いたり、実際の灾害を想定した訓練など、総合的・学際的に学ぶ「環境防災科」を平成十四年に全国で初めて設置し、防災教育に積極的に取り組んでいます。子供たちに災害対応能力を身につけるには、小學生のうちからの防災教育が必要と考えますが本市の考え、また取り組みを聞かせください。

教育部長 現在、戸田市内のすべての小中学校で児童が安全に対する理解を深め、日常生活でのさまざまな危険に気づき、みずから考え方、確に判断し、安全に行動できる態度や能力を身につけさせることを目標

熊木議員 新潟中越地震では、一部のごみ焼却場が稼働できなくなり、ごみが焼却場に積まれ放置されています。戸田市が災害に見舞われ、蕨戸田衛生センターなどが稼働できなくなつた場合など、ごみの収集・焼却などの処理についてどのように取り組まれるのかお聞かせください。

市民生活部長 本市は埼玉県清掃行政研究協議会の会員になつておおり、災害時における一般廃棄物処理県内協力体制実施要綱に基づき、県

自動体外式除細動器(AED)を配備しました。来年度中には全中学校に配備予定です。また、体験した方のお話というのは、防災の必然性

かなり必要感、さらには子供の心を動かすという意味で教育的価値が高いと思います。今後各学校に働きかけていきたいと思います。

熊木議員 ぜひ積極的に取り組んでいただこうに要望します。自分の体や命の安全を守るだけでなく、周りの人への思いやりを教えることも重要なことです。

熊木議員 淡路大震災では、救援物資が3年たつても処理されずに残っています。

的に配置させる、といったことが考えられます。基本的には、防災訓練への参加の呼びかけや、あるいは友好都市交流協会と連携を図り啓発活動を実施しています。

熊木議員 例えば名前も国籍もわからぬ、いわゆる不法滞在者、またホームレスの方々の対応についても、人格ある人間ですから、適切な対応策を検討してもらえるよう、強く要望します。

救援物資の受け入れと管理体制について

熊木議員 阪神・淡路大震災では、救援物資が3年たつても処理されずに残っています。

熊木議員 昨年の新潟中越地震の被災地である小千谷市に、本市が緊急に救援物資やごみ処理の協力をしましたように、他県からの緊急的な協力も考えられます。

務総務部長 小千谷市などでは、職員の人数が少なく、物資の受け入れや仕分け、避難所への配達などができるなかつた。さらに保管場所の確保や搬送する車両がないなどの報告がありました。

上程された議案などを、深入して専門的に議論する場であり、議会の根幹を成すものです。ぜひ一度ご覽になつてみてください。

開かれた市議会めざし改革が進んでいます

委員会が全面公開されました。

今年の六月定例議会から、常任委員会に加え議会改革特別委員会を除く特別委員会が原則公開となりました。

なお、委員会傍聴の受け付けは庁舎六階第4委員会室で、開会時間(原則午前十時から)の一時間前から行つています。手続きは申請書に簡単な記載事項を記入していただくだけです。

委員会は、本議会に開かれた議会めざし改革が進んでいます

在住外国人にかかる防災対策について

熊木議員 新潟県中越地震では、在住外国人が情報理解できなかつたり、また、口づけの話がどんどん大きくなり、より混乱してしまうこ

とがありました。本市の対応について聞かせてください。

熊木議員 災害時のごみ対策が適正に、確実に行われるよう協力体制の充実を望します。

務総務部長 ボランティア団体の優先

かせてください。

務総務部 小千谷市などでは、

直す地域防災計画策定の中で、重要課題の一つとして考えます。

熊木議員 支援物資の有効的な活用は、ぜひ考えていただきたい。

安全で安心して暮らせるまちづくりのため、さらに充実させ、万全の体制を整えるようお願いします。

平成16年3月定例議会から、地域インターネットを活用し、市内公共施設の市民開放端末から本会議のライブ中継が見られるようになりました。さらに6月定例議会からは、

インターネットで本会議を中継

インターネットによるライブ配信も行っています。市のホームページからアクセスしてみてください。
<http://www.city.toda.saitama.jp/>